



**ASAHI  
YUKIZAI**

# 2024年3月期 通期 決算説明

2024年5月28日

旭有機材株式会社

## 1 事業概要

---

## 2 総括

---

- 総括
- 全社業績推移
- アメリカ・中国の業績推移
- アメリカ事業の業績とアメリカ半導体工場建設投資額

## 3 2023年度決算

---

- 全社業績
- セグメント別業績
- 管材システム事業 業績 売上・営業利益差異分析
- 樹脂事業 業績 売上・営業利益差異分析
- 水処理・資源開発事業 セグメント別内訳 業績
- 設備投資と減価償却費、海外売上高
- 財務諸表

## 4 2024年度予想

---

- 全社業績予想
- セグメント別業績予想
- 24年度の管材システム事業
- 24年度の樹脂事業
- 24年度の水処理・資源開発事業

## 5 配当と株価

---

- 配当について
- 株価の推移

## 6 中期経営計画の進捗

---

- 数値目標
- 分野別売上高の推移と成長戦略
- 投資戦略の進捗状況

## 7 トピックス

---

- 樹脂事業「BEXUR™」を開発
- 電子材料工場 工場建設の進捗状況

# 事業概要

## 旭有機材グループ 3つの事業領域

### 水処理・資源開発事業

売上高 77億円  
営業利益 5億円



### 樹脂事業

売上高 223億円  
営業利益 15億円

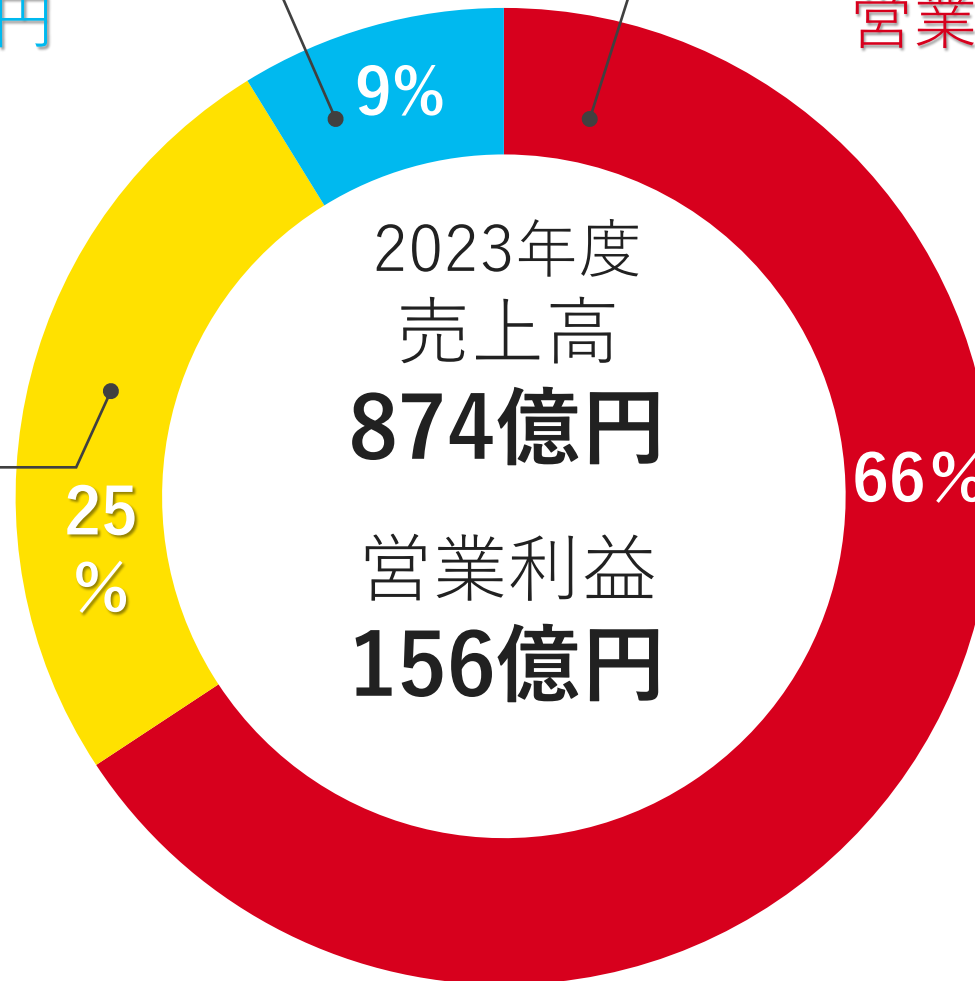


AVライト™

### 管材システム事業

売上高 575億円  
営業利益 137億円

ASAHI AV™



# 総括

## 23年度 過去最高の売上高・利益を更新

- 売上高874億円 営業利益156億円 当期利益114億円

## 24年度 減益を予想

- 売上高870億円 営業利益120億円
- 労務費、減価償却費などの固定費増加
- 24年度の半導体分野の建設投資は、依然高い水準にあるものの前年より減少

## 24年度 年間配当は増配見込

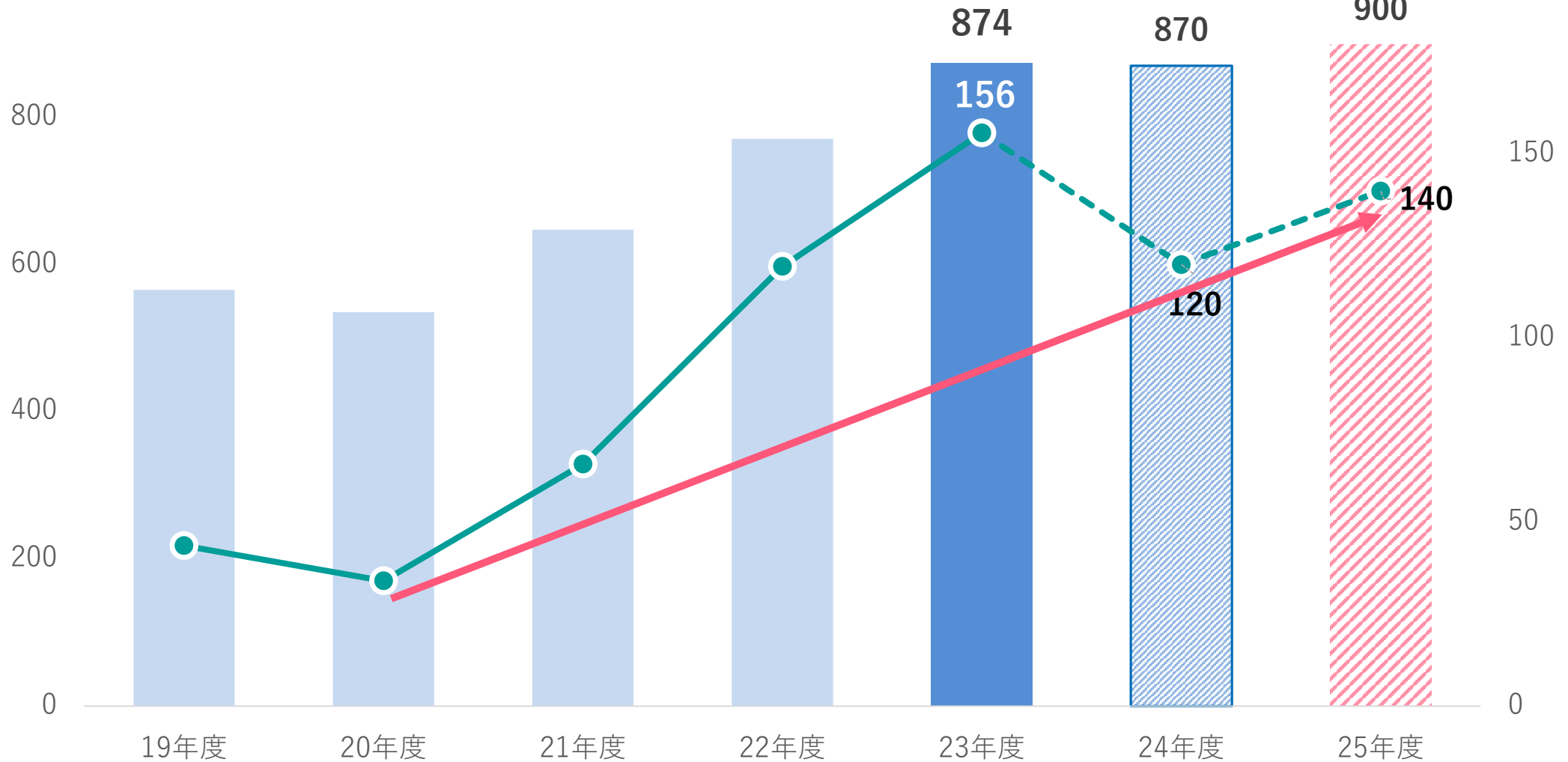
- 中間 55円 期末 55円（予想）

# 全社業績推移

売上高 (億円)  
1,000

営業利益 (億円)  
200

■売上高 ●営業利益



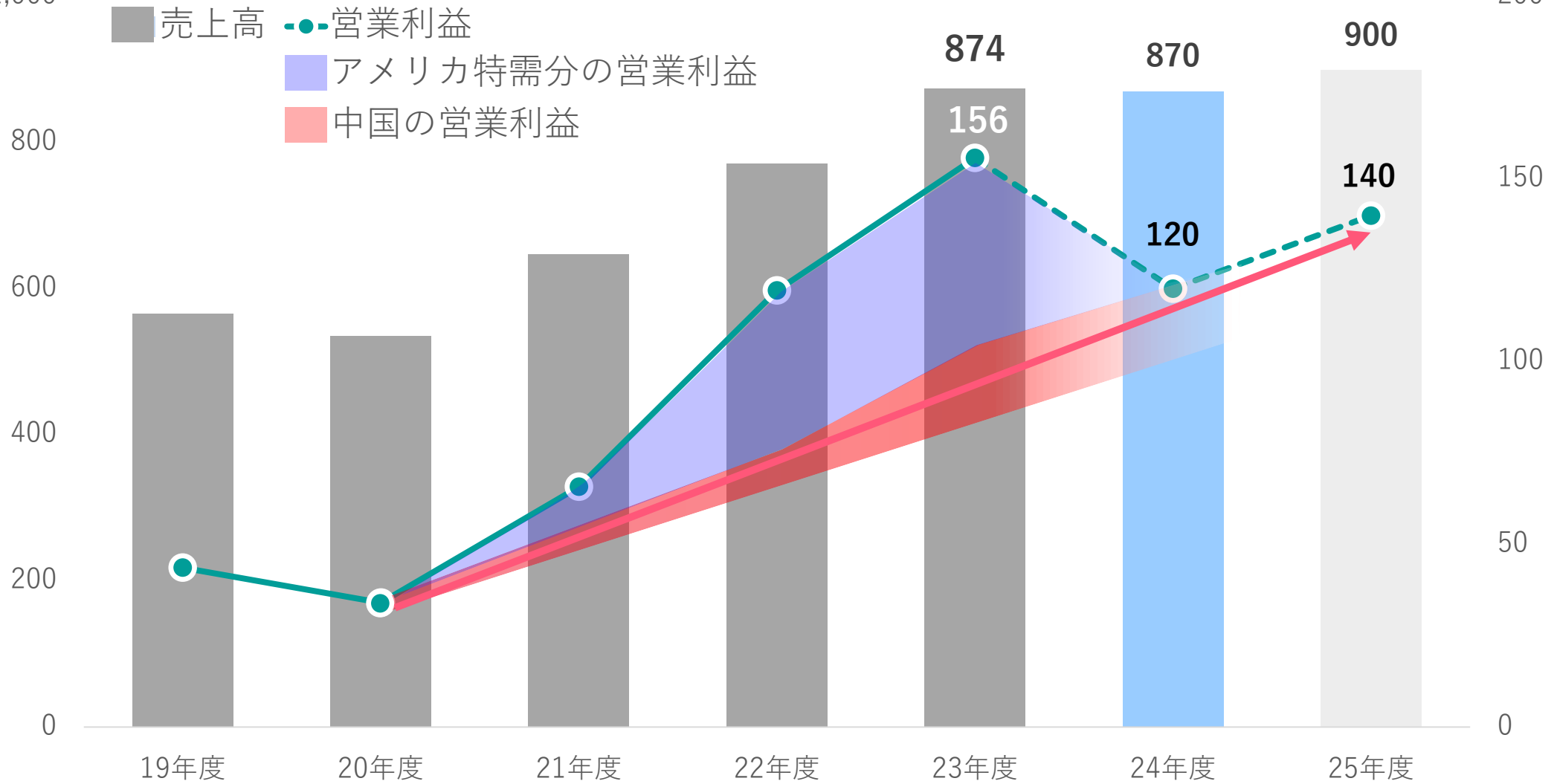
営業利益率	8%	6%	10%	15%	18%	14%	16%※
-------	----	----	-----	-----	-----	-----	------

※25年度中計目標値は150円/\$で再計算 当初は120円/\$ (売上高870億円、営業利益120億円)

# 全社業績推移

売上高 (億円)  
1,000

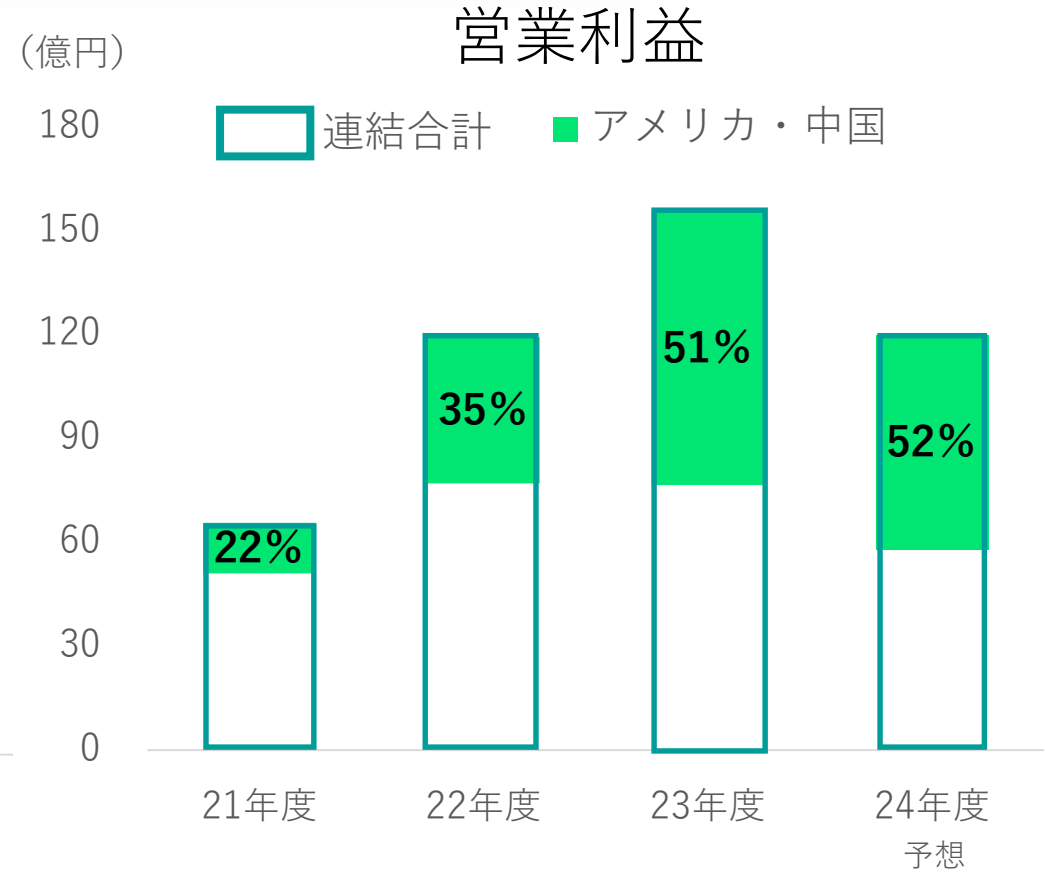
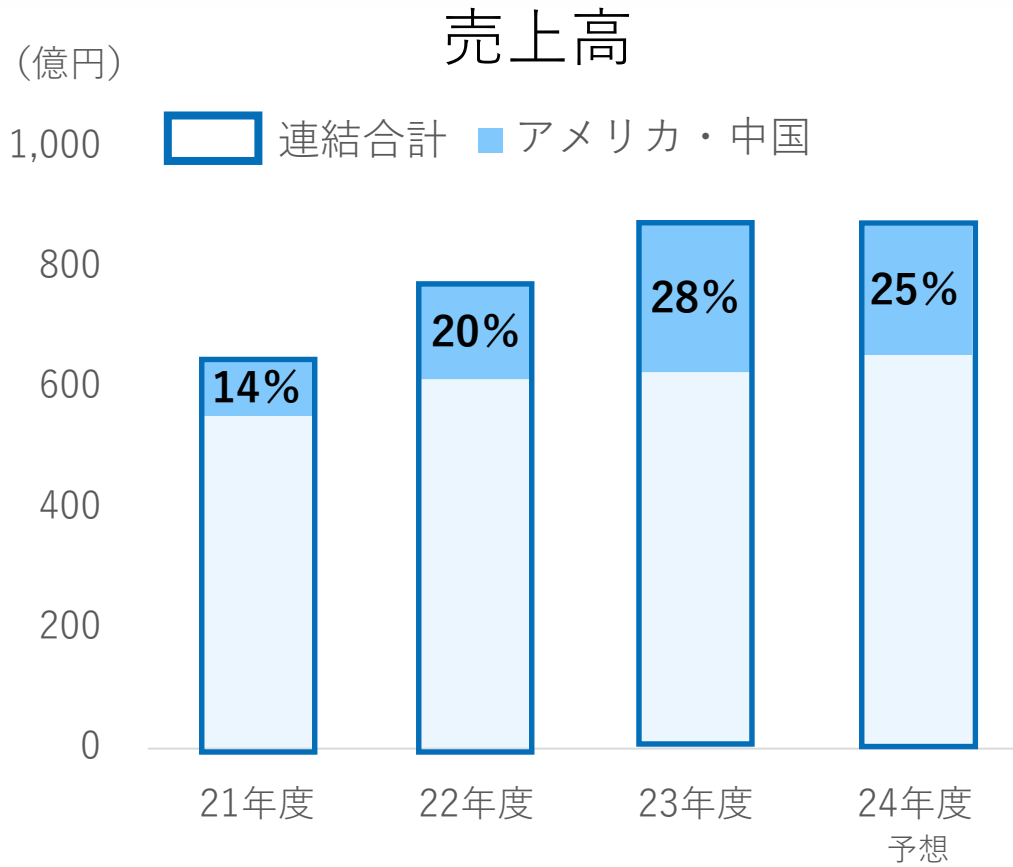
営業利益 (億円)  
200



営業利益率	8%	6%	10%	15%	18%	14%	16%※
-------	----	----	-----	-----	-----	-----	------

※25年度中計目標値は150円/\$で再計算 当初は120円/\$ (売上高870億円、営業利益120億円)





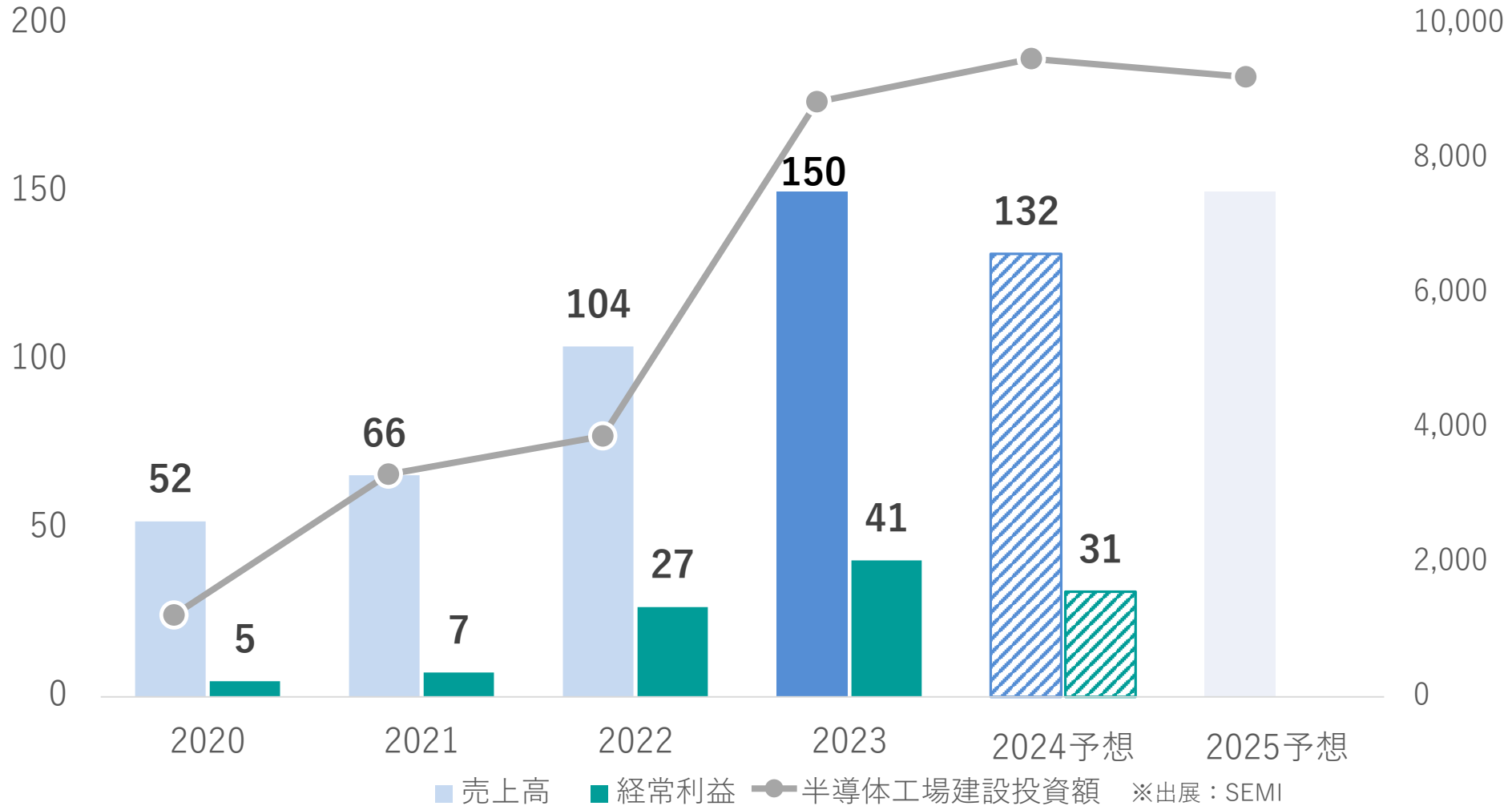
アメリカ：大型半導体プロジェクトによる需要増

中国：液晶・太陽電池等の分野で販売好調

## 23年度は半導体工場建設投資が追い風も、24年度は減少見込み

売上高・経常利益  
(百万ドル)

半導体工場建設投資額  
(百万ドル)



為替レート 円/ドル	2020	2021	2022	2023	2024
	107	110	131	141	150

# 2023年度決算

(億円)

	22年度実績			23年度実績			通期比較 増減額
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	359	412	771	<b>438</b>	<b>436</b>	<b>874</b>	+103
営業利益	53	66	119	<b>83</b>	<b>73</b>	<b>156</b>	+36
経常利益	58	63	121	<b>86</b>	<b>75</b>	<b>161</b>	+39
親会社株主に帰属する 当期純利益	38	56	94 <sup>*)</sup>	<b>55</b>	<b>59</b>	<b>114</b>	+20

\*) 繰延税金資産等を計上

**ROE**

22年度 <b>17%</b>	23年度 <b>17%</b>
--------------------	--------------------

**ROIC**

22年度 <b>16%</b>	23年度 <b>16%</b>
--------------------	--------------------

**EBITDA**

22年度 <b>141億円</b>	23年度 <b>178億円</b>
----------------------	----------------------

(円)

一株当たり 当期純利益	199	293	492	<b>286</b>	<b>309</b>	<b>594</b>	+102
一株あたり 配当	30	40	70	<b>50</b>	<b>50</b>	<b>100</b>	+30

	(億円)	22年度 通期	23年度通期	
			実績	増減
管材システム 事業	売上高	485	<b>575</b>	+89
	営業利益	107	<b>137</b>	+30
	営業利益率	22.0%	<b>23.8%</b>	+1.8%
樹脂事業	売上高	206	<b>223</b>	+17
	営業利益	8	<b>15</b>	+7
	営業利益率	3.9%	<b>6.9%</b>	+3.0%
水処理・ 資源開発事業	売上高	80	<b>77</b>	△3
	営業利益	5	<b>5</b>	+0
	営業利益率	5.9%	<b>6.4%</b>	+0.5%
全社合計	売上高	771	<b>874</b>	+103
	営業利益	119	<b>156</b>	+36
	営業利益率	15.5%	<b>17.8%</b>	+2.3%

## 基幹製品

電子産業分野が牽引、その他分野は前年並みで推移

## ダイマトリックス製品

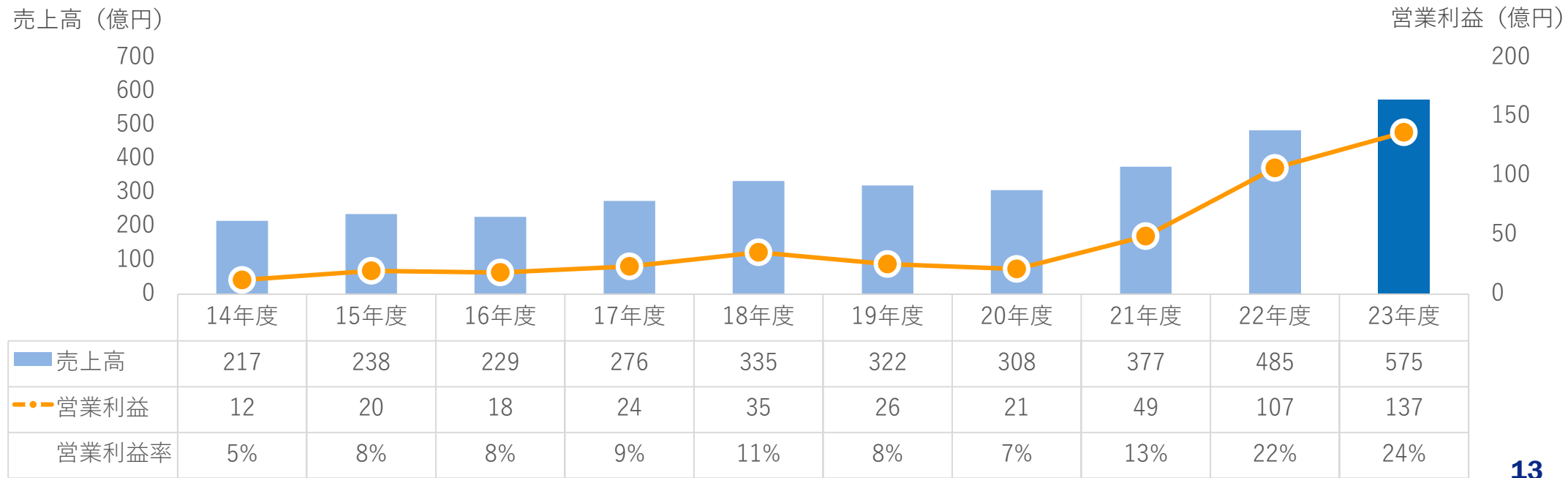
メモリー市況の低迷が影響

## エンジニアリング事業

半導体関連等の利益率が高い請負工事を優先的に受注

## 関係会社

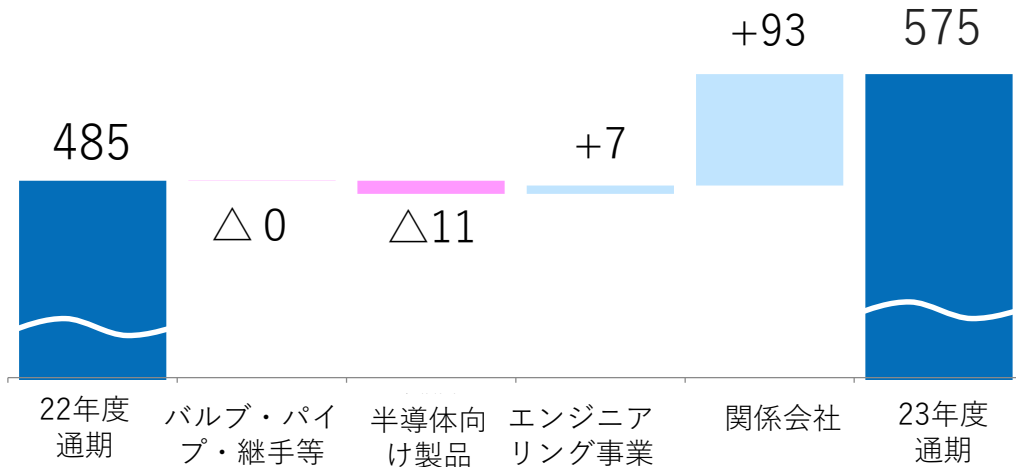
アメリカと中国の好調 国内はほぼ前年並みをキープ



(億円)

売上高 +89

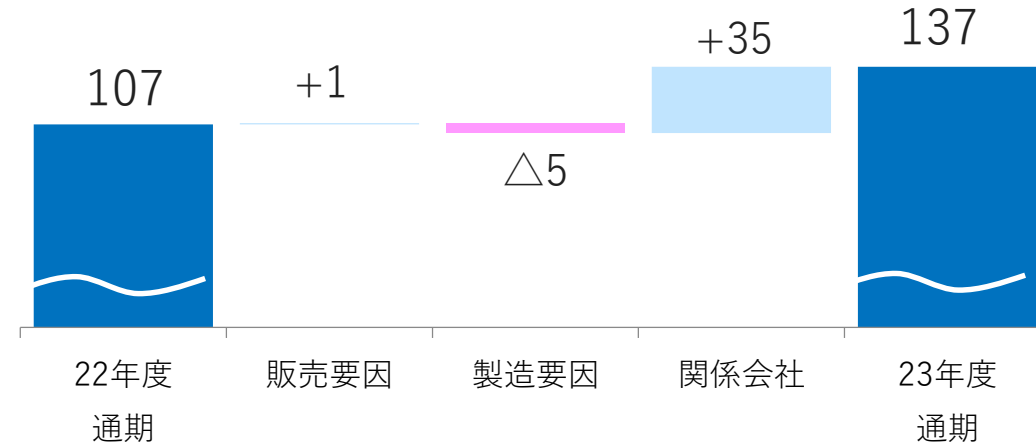
■ 売上高 ■ プラス要因 ■ マイナス要因



(億円)

営業利益 +30

■ 営業利益 ■ プラス要因 ■ マイナス要因



売上増減内訳

- バルブ・パイプ・継手等  $\Delta 0$
- 半導体向け製品 (ダイマトリックス)  $\Delta 11$
- エンジニアリング事業 +7
- 関係会社 (連結消去後)
  - ： 海外 +94
  - ： 国内  $\Delta 0$

営業利益増減内訳

- 販売要因  
値上げ、円安効果、構成差
- 製造要因  
労務費、修繕費等の固定費の増加
- 関係会社  
主に売上増に伴う利益増

## 素形材

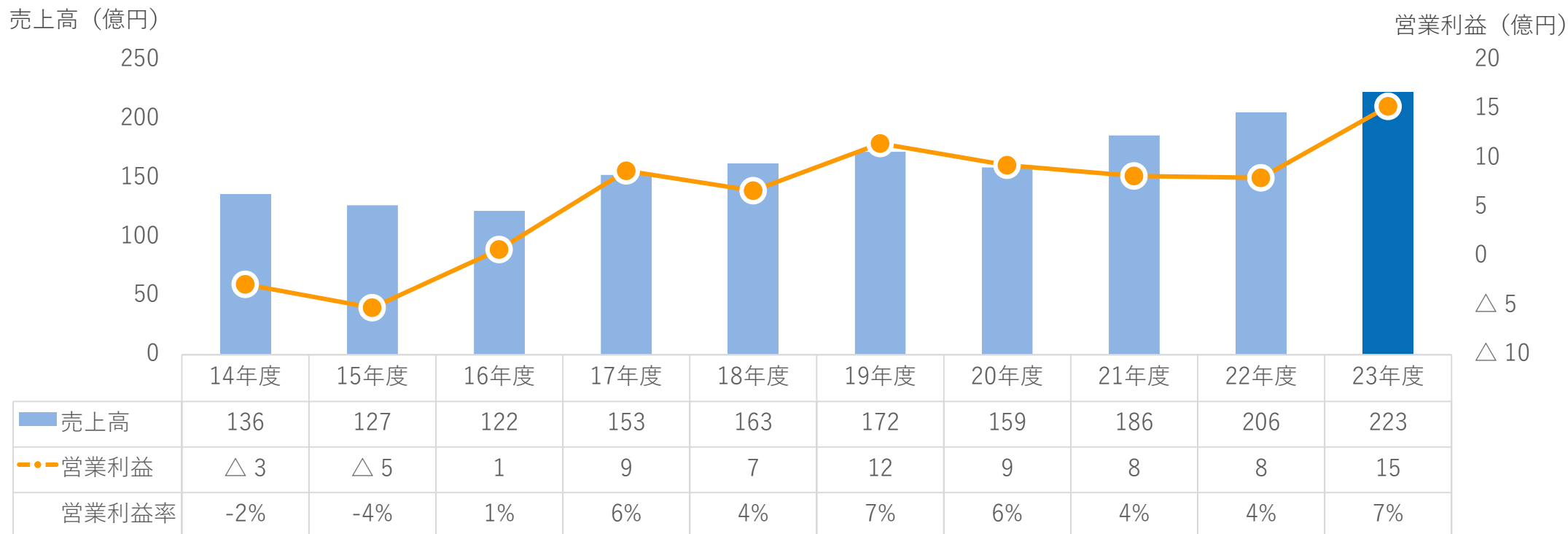
値上げの実施と高付加価値品への切替推進で増収

## 発泡材料等

断熱材施工会社ランドウィックの大型物件完工および、値上げによる原料システムの売上増

## 電子材料

国内において、デバイス市場低迷の影響を受けるも、中国（南通）はFPD分野の高い需要に対応

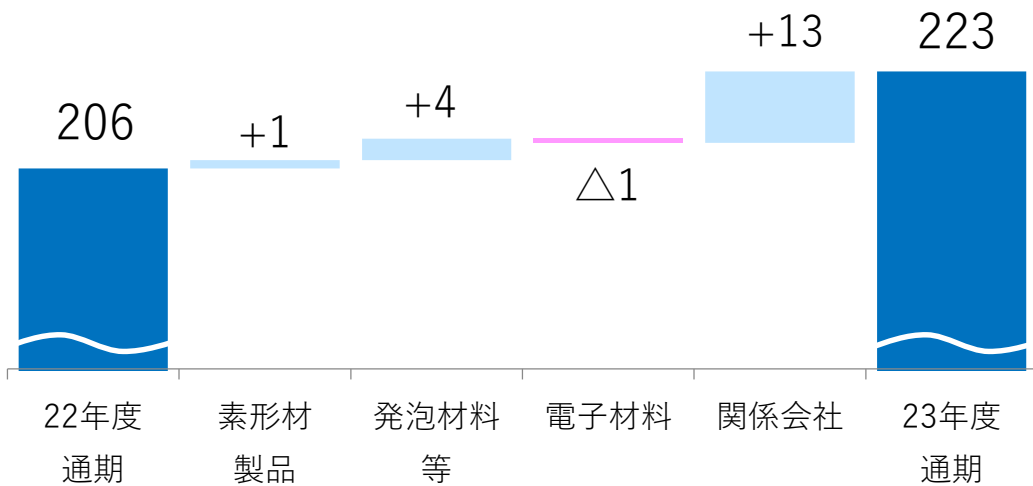




(億円)

売上高 +17

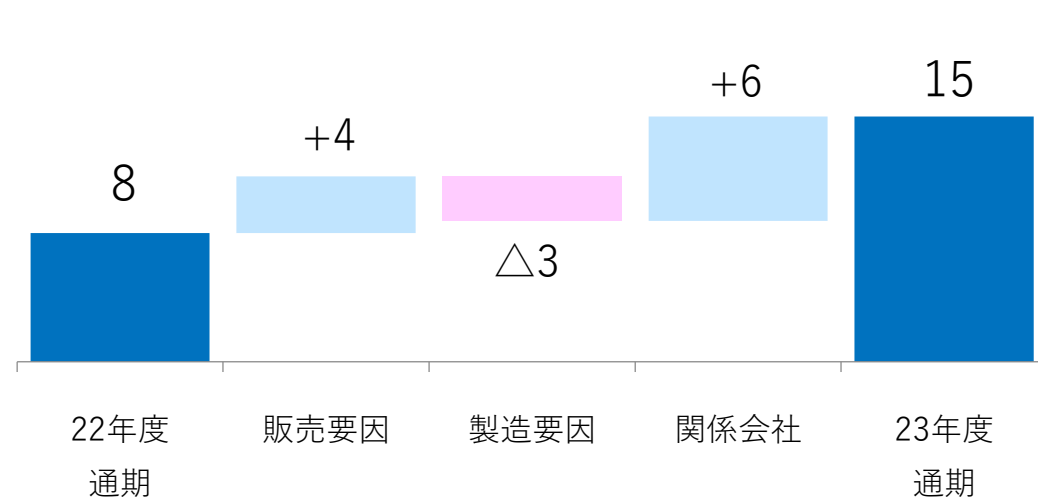
■ 売上高 ■ プラス要因 ■ マイナス要因



(億円)

営業利益 +7

■ 営業利益 ■ プラス要因 ■ マイナス要因



## 売上増減内訳

- 素形材製品 +1
- 発泡材料等 +4
- 電子材料 △1
- 関係会社 (連結消去後)
  - ：中国 △2
  - ：その他 (ランドウィック含む) +15

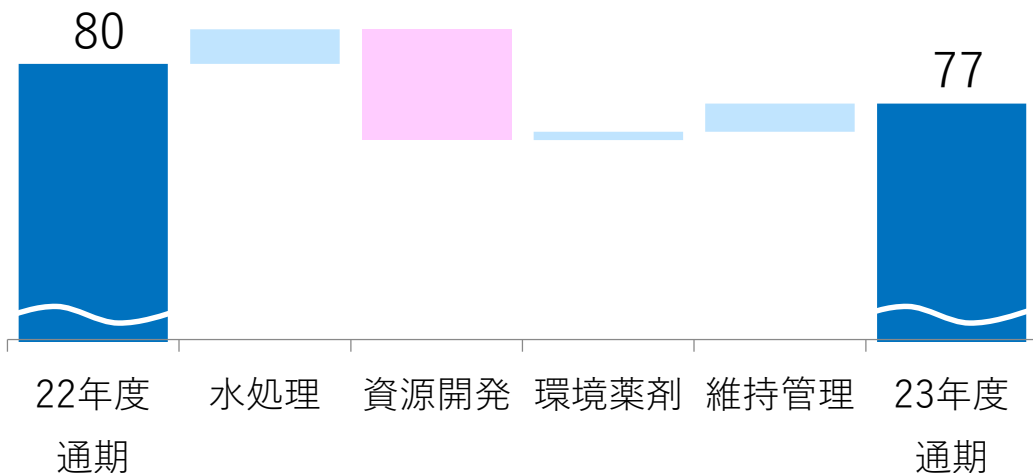
## 営業利益増減内訳

- 販売要因  
値上げによる効果
- 製造要因  
原料高およびユーティリティ費用増

(億円)

売上高  $\Delta 3$

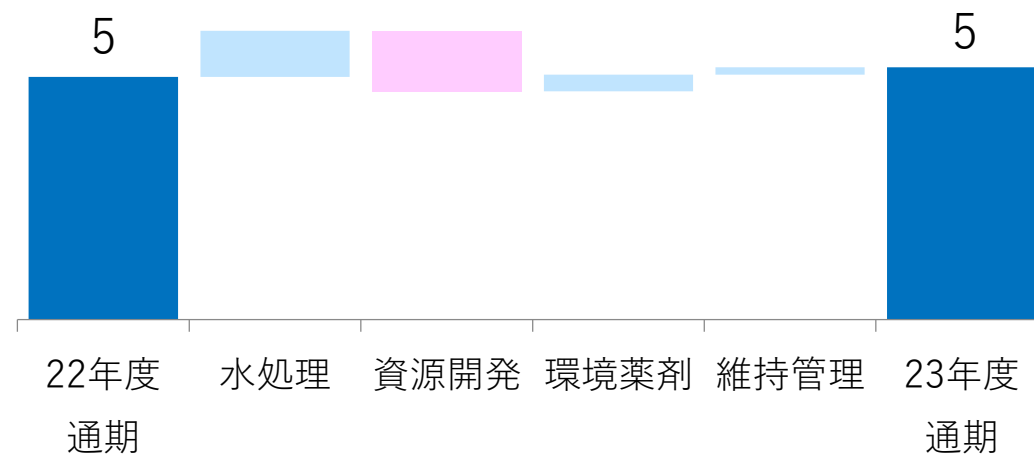
■ 売上高 ■ プラス要因 ■ マイナス要因



(億円)

営業利益 +0

■ 営業利益 ■ プラス要因 ■ マイナス要因



## 水処理

工事完工件数の増加や工事が順調に進捗

## 資源開発

温泉開発工事は計画通りに進捗するも、地熱掘削工事案件の延期が影響

## 環境薬剤

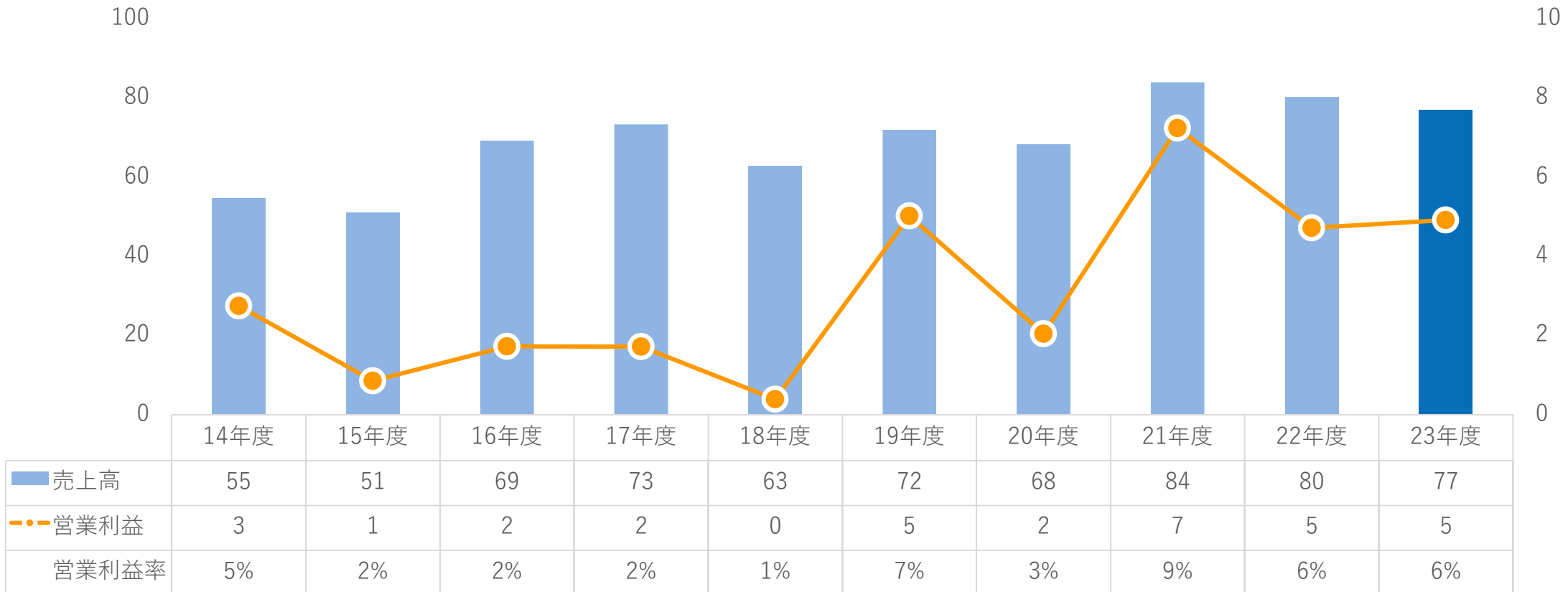
薬剤の需要が堅調に推移

## 維持管理

管理契約に変動無し、修繕・改修工事が順調

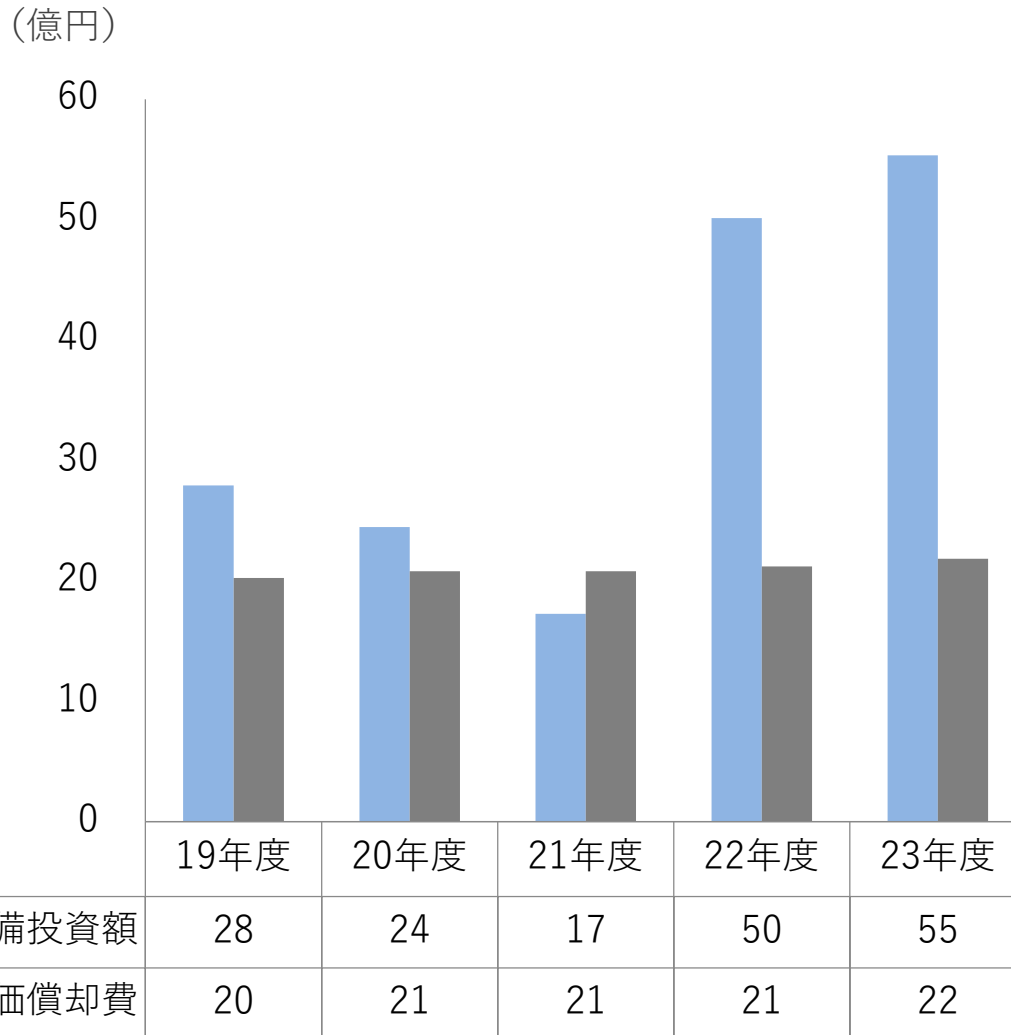
売上高 (億円)

営業利益 (億円)



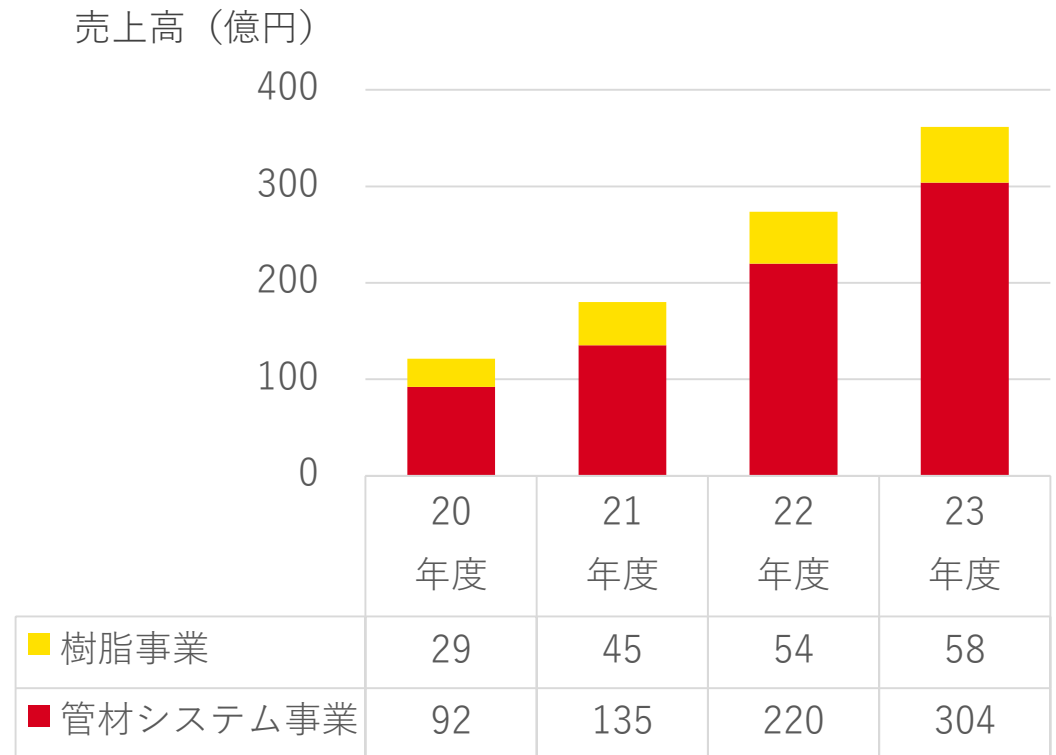
# 設備投資と減価償却費、海外売上高

## 設備投資と減価償却費



※設備投資は資産計上実績ベース

## 海外売上高・海外売上高比率



海外売上高比率	21年度	22年度	23年度
管材システム事業	36%	45%	<b>53%</b>
樹脂事業	24%	26%	<b>26%</b>
全社	28%	36%	<b>41%</b>

P/L	(億円)	2022年度	2023年度
売上高		771	<b>874</b>
売上原価		474	<b>518</b>
売上総利益		297	<b>357</b>
販売費及び一般管理費		178	<b>201</b>
営業利益		119	<b>156</b>
営業外損益		2	<b>5</b>
経常利益		121	<b>161</b>
特別損益		1	<b>1</b>
税前利益		120	<b>160</b>
法人税等		25	<b>45</b>
非支配株主に帰属する当期純利益		0	<b>1</b>
親会社株主に帰属する当期純利益		94	<b>114</b>

B/S	(億円)	23年3月末	24年3月末
<b>資産合計</b>		863	<b>1,014</b>
流動資産		557	<b>667</b>
棚卸資産		190	<b>223</b>
固定資産		305	<b>347</b>
有形固定資産		209	<b>243</b>
<b>負債・純資産合計</b>		863	<b>1,014</b>
負債合計		251	<b>297</b>
流動負債		208	<b>244</b>
短期借入金		20	<b>42</b>
固定負債		43	<b>53</b>
純資産		612	<b>717</b>
利益剰余金		450	<b>547</b>
自己株式		△12	<b>△19</b>

C/F	(億円)	2022年度	2023年度
営業活動によるキャッシュ・フロー		58	<b>97</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー		△48	<b>△46</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー		△19	<b>△5</b>
キャッシュフロー計		△9	<b>45</b>
現金及び現金同等物の期末残高		139	<b>188</b>

# 2024年度予想

	23年度実績			24年度予想			(億円)
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期比較 増減額
売上高	438	436	874	<b>420</b>	<b>450</b>	<b>870</b>	△4
営業利益	83	73	156	<b>55</b>	<b>65</b>	<b>120</b>	△36
経常利益	86	75	161	<b>56</b>	<b>65</b>	<b>121</b>	△40
親会社株主に帰属する 当期純利益	55	59	114	<b>39</b>	<b>46</b>	<b>85</b>	△29

## ROE

23年度 <b>17%</b>	24年度 <b>11%</b>
--------------------	--------------------

## ROIC

23年度 <b>16%</b>	24年度 <b>11%</b>
--------------------	--------------------

							(円)
一株当たり 当期純利益	286	309	594	<b>204</b>	<b>240</b>	<b>444</b>	△150
一株あたり 配当	50	50	100	<b>55</b>	<b>55</b>	<b>110</b>	+10

## EBITDA

23年度 <b>178億円</b>	24年度 <b>147億円</b>
----------------------	----------------------

為替：1ドル=150円

# セグメント別業績予想

**全社**：減収減益   
 **管材**：減収減益   
 **樹脂、水処理・資源開発**：増収増益

	(億円)	23年度 通期	24年度通期	
			予想	増減
<b>管材システム事業</b>	売上高	575	<b>538</b>	△37
	営業利益	137	<b>96</b>	△41
	営業利益率	23.8%	<b>17.9%</b>	△6.0%
<b>樹脂事業</b>	売上高	223	<b>238</b>	+15
	営業利益	15	<b>18</b>	+3
	営業利益率	6.9%	<b>7.7%</b>	+0.8%
<b>水処理・資源開発事業</b>	売上高	77	<b>94</b>	+17
	営業利益	5	<b>6</b>	+1
	営業利益率	6.4%	<b>6.0%</b>	△0.4%
<b>全社合計</b>	売上高	874	<b>870</b>	△4
	営業利益	156	<b>120</b>	△36
	営業利益率	17.8%	<b>13.8%</b>	△4.0%



# 24年度の管材システム事業

## 事業環境

半 導 体 関 連  
( 基 幹 製 品  
ダイマトリックス製品)

電子産業分野は一服感  
製造装置は下期以降需要が回復見込み

設 備 投 資  
( 基 幹 製 品 )

国内の製鉄・非鉄関連は、更新・改善等の投資は底堅くも  
回復は緩やかな傾向を見込む

イ ン フ ラ  
( 基 幹 製 品 )

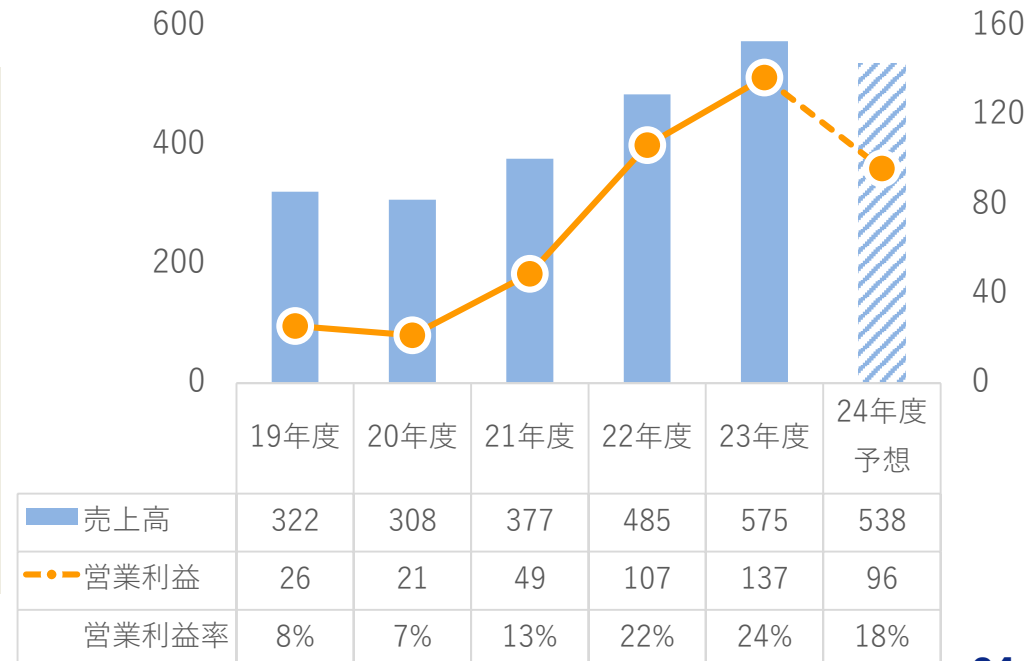
前年度並みで推移

## 主要施策

グローバル拡大を見据えた生産体制の整備  
と生産性アップ

お客様の製造プロセスへのお役立ちに貢献  
する人材開発

売上高 (億円) 営業利益 (億円)



## 事業環境

半 導 体 関 連  
( 電 子 材 料 )

上期にかけて徐々に回復し、下期より本格回復の見込み

自 動 車 生 産  
( 素 形 材 )

前年度並みに推移（国内微減、海外増加）

建 築 分 野  
( 発 泡 材 料 )

前年度並みの底堅い需要も人手不足が顕著

## 主要施策

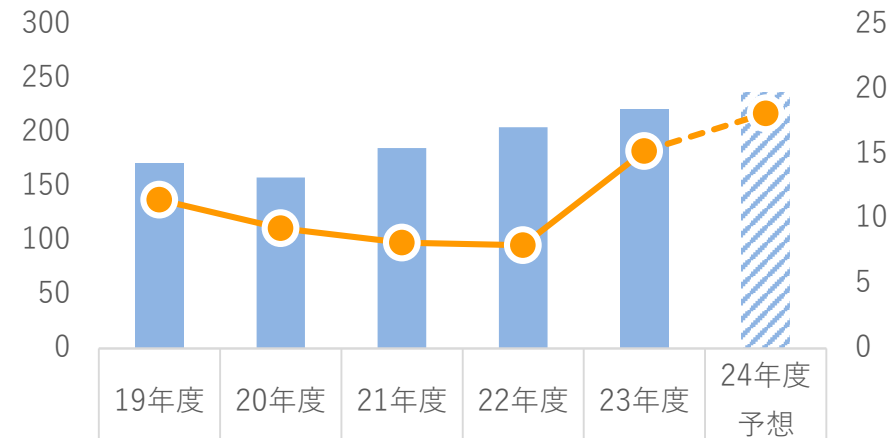
[電子材料]  
電材第二工場の垂直立上げと  
南通電材第二工場建設プロジェクト推進

[素形材]  
海外展開のさらなる加速  
(南通、メキシコ、インド)

[発泡材料]  
高断熱 現場発泡システム「BEXUR™」  
の施工実績の積上げ

売上高（億円）

営業利益（億円）



売上高	172	159	186	206	223	238
営業利益	12	9	8	8	15	18
営業利益率	7%	6%	4%	4%	7%	8%

## 事業環境

水 処 理

前年度並みで推移

資 源 開 発

地熱分野は、受注環境改善で大型案件を複数見込む

温泉分野は、確度の高い引き合い案件が多数あるものの、掘削工事の工事要員が逼迫

## 主要施策

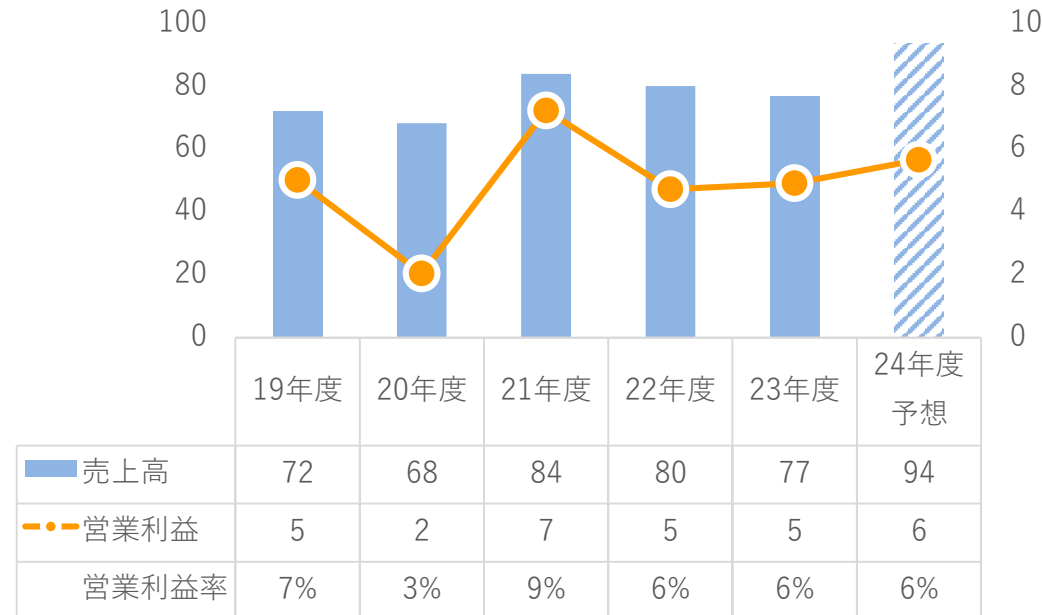
バイオガス発電分野の取組み強化

遠隔管理システムの導入促進

技術探求プロジェクトの推進  
(独自のメタン発酵処理技術・  
水処理膜技術の深化)

売上高 (億円)

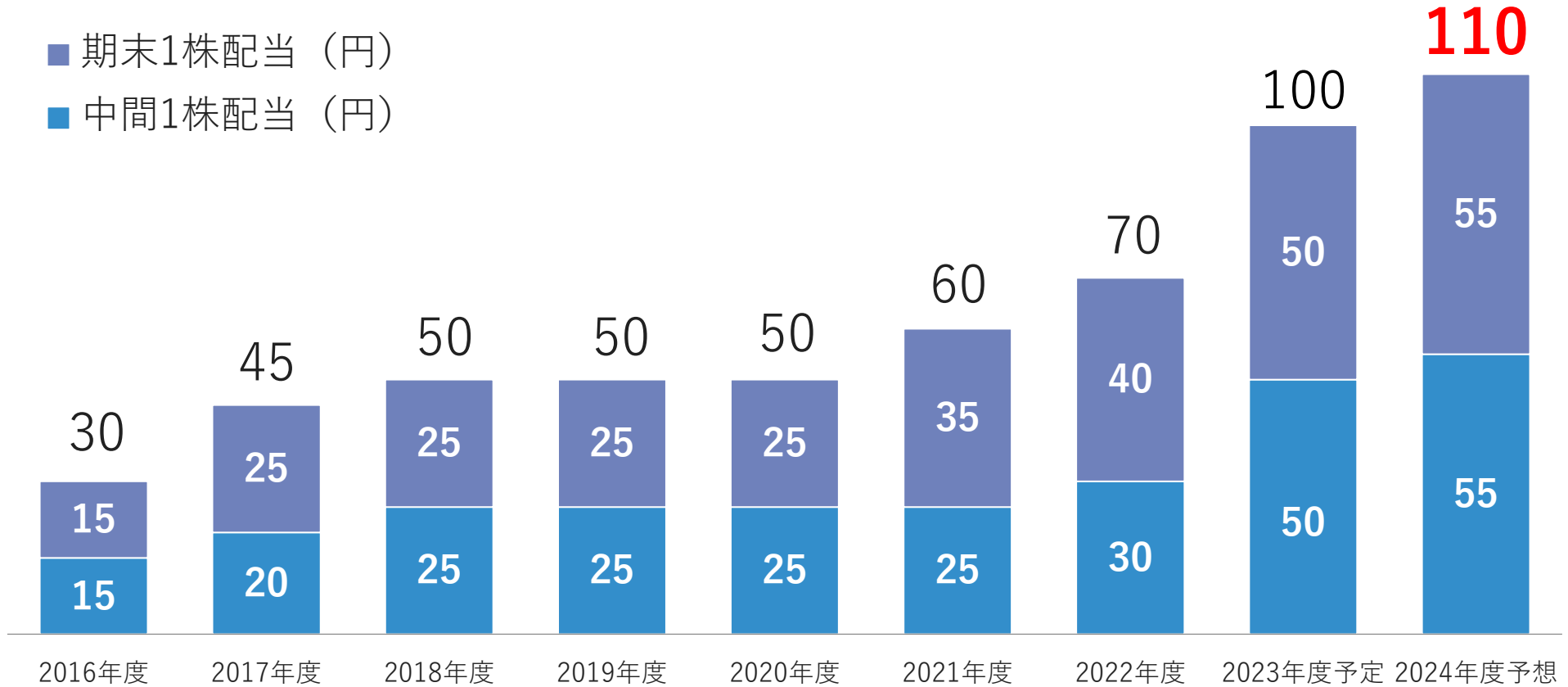
営業利益 (億円)



# 配当と株価

中間期配当 1株につき55円 期末配当 1株につき55円(予想)

- 期末1株配当 (円)
- 中間1株配当 (円)



	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度予定	2024年度予想
配当性向	52.7%	31.0%	24.5%	30.5%	34.3%	24.1%	14.2%	16.8%	24.8%
総還元性向	52.9%	31.2%	24.8%	30.7%	34.5%	24.2%	14.4%	23.4%	-

※2023年4月3日を100として指数化

株価と出来高の推移



配当利回り\*

2.4%

PER  
(会社予想)\*

10.2倍

PBR  
(実績)

1.2倍

\* 配当利回り・PER (会社予想) は  
2024年5月23日終値 (4,620円) で算出

# 中期経営計画の進捗



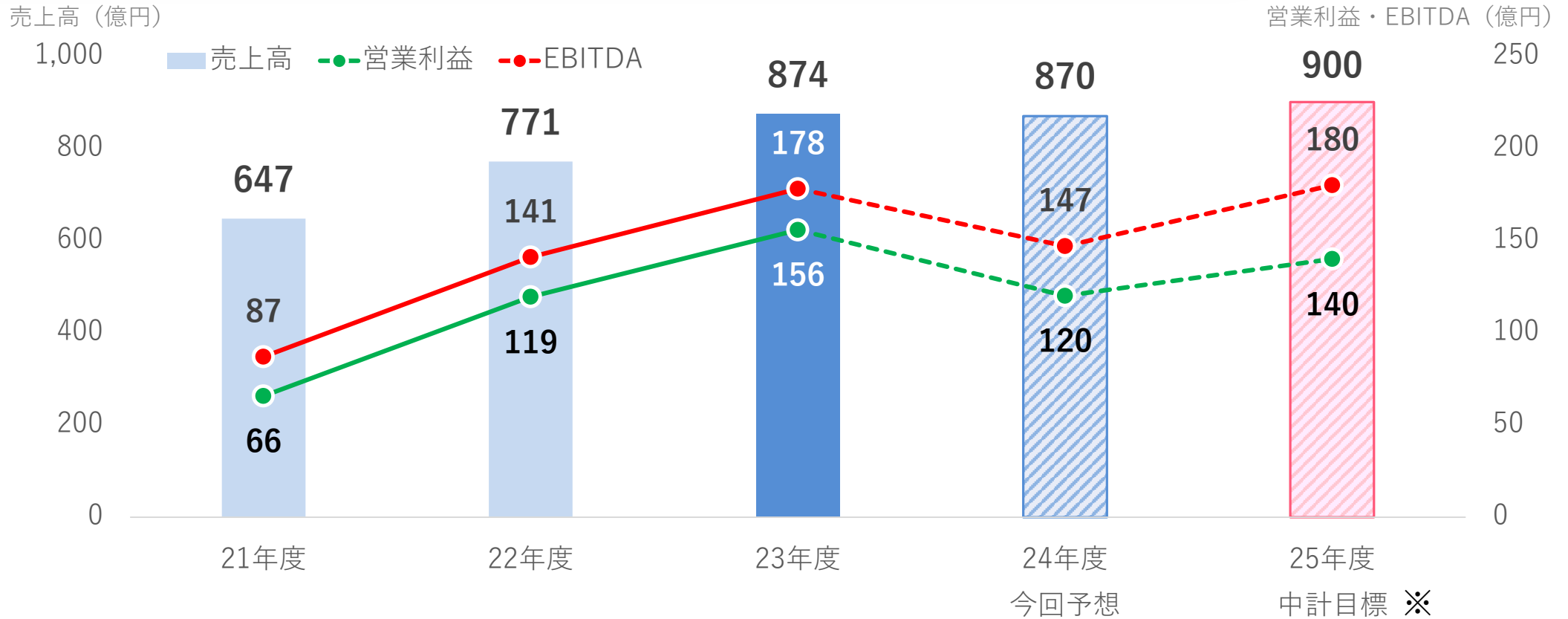
## 2025年の目標値

項 目	2023年5月公表値
売上高	870億円
営業利益	120億円
営業利益率	14%
EBITDA	160億円
ROE	11%
ROIC	9%

## セグメント別目標値

	売上高	営業利益	営業利益率
管材システム事業	525億円	95億円	18%
樹脂事業	245億円	18億円	7%
水処理・資源開発事業	100億円	7億円	7%

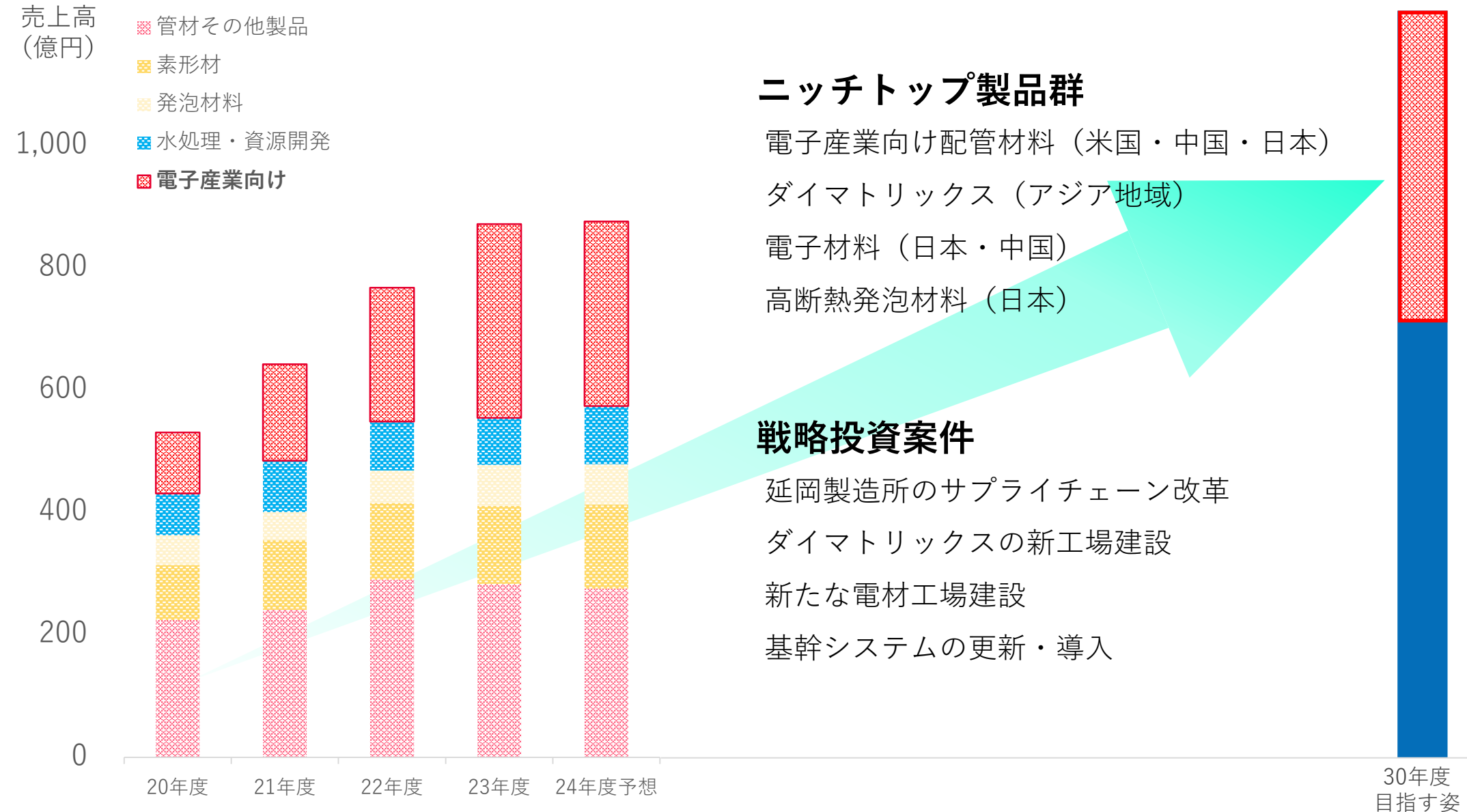




項目	21年度	22年度	23年度	24年度 今回予想	25年度 中計目標※
営業利益率	10%	15%	18%	14%	16%※
ROE	10%	17%	17%	11%	11%以上※
ROIC	9%	16%	16%	11%	9%以上※

※25年度中計目標値は150円/\$で再計算 当初は120円/\$ (売上高870億円、営業利益120億円)

## 海外・半導体を成長ドライバーとし、国内は「違い」をつくり事業を拡大



### ニッチトップ製品群

- 電子産業向け配管材料 (米国・中国・日本)
- ダイマトリックス (アジア地域)
- 電子材料 (日本・中国)
- 高断熱発泡材料 (日本)

### 戦略投資案件

- 延岡製造所のサプライチェーン改革
- ダイマトリックスの新工場建設
- 新たな電材工場建設
- 基幹システムの更新・導入

# 投資戦略の進捗状況

投資内容	25年度までの投資計画	23年度までの進捗	進捗	計画している具体的項目
戦略投資 (維持・合理化)	260億円	<p><b>樹脂事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電材新工場</li> </ul> <p><b>60億円</b></p> <p><b>デジタル投資</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基幹システム更新</li> </ul> <p><b>8億円</b></p> <p>※意思決定ベース</p>	26%	<p><b>管材システム事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サプライチェーン改革</li> <li>ダイマトリックス新工場</li> </ul> <p><b>樹脂事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電材工場（国内外）</li> </ul> <p><b>サステナブル・デジタル投資</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生産管理システムの導入</li> </ul>
定常投資 (維持・合理化)	110億円	74億円 ※資産計上ベース	67%	
M&A枠	50億円	-	0%	
<b>投資総額</b>	<b>420億円</b>	<b>142億円</b>	<b>39%</b>	

# トピックス

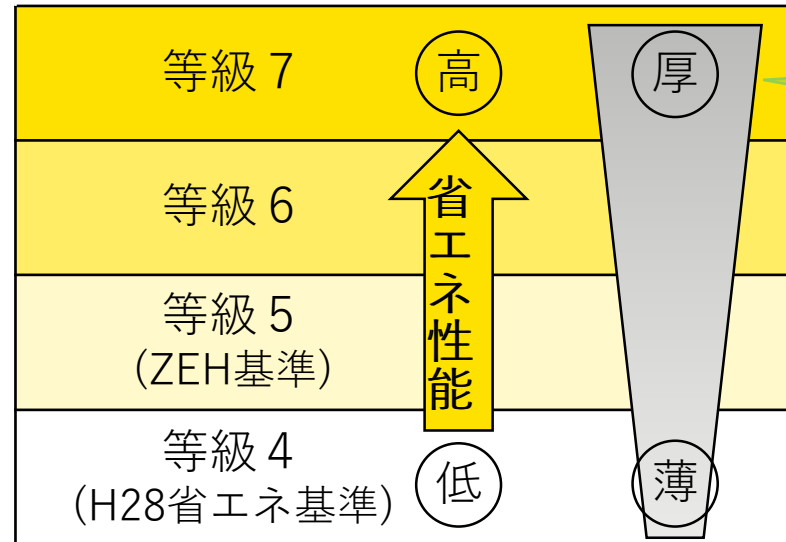
## ◆ 世界最高クラスの現場発泡システム

### 特徴

- ・ 薄肉化を実現
- ・ より広く快適な住空間の提供に貢献

### 住宅性能表示制度

断熱性能等級      断熱材の厚み



住空間減少

▲  
**BEXUR™**  
でお役立ち

### 目指す姿

- ・ 初めての技術で市場創造
- ・ ニッチトップを目指す

### ビル・マンション 現場発泡ウレタン市場規模 (当社推計)

<2023年>

<2030年見込み>

等級6～	数億円	50億円
等級5	数億円	150億円
～等級4	180億円	—

## ◆ 電材第二工場 新設

- ・ 総投資額 60億円
- ・ 用途 先端半導体  
レガシー半導体向け
- ・ 進捗 2022年11月着工  
2024年 7月竣工  
垂直立上げ準備中



## ◆ 南通電材工場 増強

- ・ 生産能力 従来の1.5倍に増強
- ・ 用途 FPD向け
- ・ 進捗 2024年3月工事完了



## 注意事項

本資料における予想・見通しは、資料作成時点において入手可能な情報により弊社が判断したものです。将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。